

彙 報

研究活動等 (2025年1月～2025年12月) (学科別五十音順)

総合政策学科

石山 宏

1. 著書・論文等

- (1) 『検定簿記講義/2級商業簿記〈2025年度版〉』(共著)中央経済社, 2025年3月。
- (2) 『検定簿記ワークブック/2級商業簿記〈第11版〉』(共著)中央経済社, 2025年3月。
- (3) 『公式テキスト Excel会計スペシャリスト』(共著)オデッセイコミュニケーションズ, 2025年4月。
- (4) 『ステップアップ簿記—財務会計への誘い—』(共著)同文館出版, 2025年6月。

2. 学会発表

- (1) 「Excelを利用した簿記教育—授業への導入可能性—」(共同研究:木下貴博)日本会計教育学会 第17回全国大会(別府大学), 2025年12月。

3. 社会活動等

- (1) 山梨県出資法人経営検討委員会委員。
- (2) 「ビジネス・キャリア検定試験」試験委員, 中央職業能力開発協会。
- (3) 「Excel会計スペシャリスト」試験委員, オデッセイコミュニケーションズ。

松井亮太

1. 著 書

- (1) 松井亮太(単著)『人はなぜ★5より★2のレビューが気になるのか(「なんとなく」の心理を科学する上)』旬報社, 2025年9月
- (2) 松井亮太(単著)『人はなぜ午前中より午後にウソをつくののか(「なんとなく」の心理を科学する下)』旬報社, 2025年10月

2. 研究発表・講演等

- (1) 松井亮太「不合理な原子力の世界と意思決定のゆがみ:システムの問題を探る」原子力システム研究懇話会, 2025年2月18日(招待講演)
- (2) 松井亮太「Eラーニングにおける従業員の非倫理的行動:従業員年齢と受講態度の分析」『日本経営倫理学会誌』第32巻, pp.229-240, 2025年3月(査読あり)
- (3) 松井亮太「経営学的に考えるデザイン思考の使い方」経済財政に関する山梨コンファレンス, 2025年5月30日(基調講演)
- (4) 松井亮太「原子力業界のシステムの問題」集団志向と倫理研究会, 2025年9月23日
- (5) Ryota Matsui, “Emotion as a Catalyst for Creativity in Decision-Making: Proposing System 3 Thinking as an Extension to Dual-Process Theory,” *Psychological Studies*, 70 (3), 417-429, 2025年11月(査読あり)
- (6) 松井亮太「不合理な原子力の世界と意思決定のゆがみ:システムの問題を探る」原子力エネルギーシステムシンポジウム, 2025年11月18日(招待講演)
- (7) 松井亮太「行動科学的に合理的な選択」山梨大学学生主催合同ワークショップ, 2025年12月1日(招待講演)
- (8) 松井亮太「楽しい経験を先にすべきか?後にすべきか?」行動経済学会第19回大会, 2025年12月13日

3. 外部資金による研究活動

- (1) [研究代表者]科学研究費助成事業 若手研究24K16447「感情の機能および感情を利用した意思決定手法に関する心理学的研究」(2025年～研究継続中)
- (2) [研究分担者]科学研究費助成事業 挑戦的

研究（萌芽）22K18444「人工物を介した志向性と責任概念の変容に関する研究」（2022年～研究継続中）

- (3) [研究分担者] 科学研究費助成事業 基盤研究 (C) 22K01727「計画と実行との乖離に関する心理学的研究」（2022年～研究継続中）

国際コミュニケーション学科

伊藤ゆかり

1. 論文

- (1) (単著) (2025年2月)「アメリカ演劇における自然災害：ハリケーン・カトリーナの表象」、山梨県立大学国際政策学部紀要『山梨国際研究』第20号、pp.27-36.

2. 外部資金による研究活動

- (1) 科研費基盤研究C、研究代表者、2023年度より継続、課題名「大量死と隔絶の脅威に対抗する記憶と共有の演劇に関する総合的研究」

3. 社会活動

- (1) 公益財団法人やまなし文化学習協会評議員
(2) 公益財団法人山梨鈴木助成事業財団評議員

高野美千代

1. 論文

- (1) (単著)「書物史の観点から考察するジョン・イーヴリンの *Numismata*」『山梨国際研究』(20) 17-25 2025年3月

2. その他(シンポジウムプロシーディングス)

- (1) (責任編者) 第43回英米文化学会大会 Symposium Proceedings「近世英国におけるアイデンティティの探求」2025年9月

3. 講演・口頭発表等

- (1) 「Sir William Dugdaleによる好古学とアイデンティティ探求～*Antiquities of Warwickshire*と*History of St. Paul's*を中心に～」英米文化学会第43回大会シンポジウム：近世英国におけるアイデンティティの探求 於：京都テルサ 2025年9月6日
- (2) 「17世紀 甲斐の一読者による書物蒐集と読書活動／Book Collecting by a 17th-century Gentleman-Farmer in Yamanashi」科研費国際研究集会：近世日英書物文化の発展における類似性を考える 於：山梨県立大学 2025年9月3日
- (3) 「浅井了意の『かなめいし』に描かれた

人々と災害／A Study of Early Modern Presentations of People and Disasters in Asai Ryoi's *Kanameishi*」科研費研究成果公開イベント：災害を描く近世日英出版物の比較研究 於：山梨県立大学 2025年7月22日

4. 社会活動等

- (1) 全商高校英語スピーチコンテスト山梨県予選審査員
- (2) 山梨三曲協会副会長

張 兵

1. 研究論文等

- (1) 「日本における清詩研究について—王漁洋研究を中心に」（共著）『都留文科大学研究紀要』第101集2025年3月
- (2) 「日本学術界による雄安新区研究の現状と展望」（単著）日本華人教授会議『東アジア論壇』第20号2025年3月
- (3) 「高鳳翰作品在日本的傳播與影響述評」（共著）東亜漢学研究学会『東亜漢学研究』第15号2025年7月
- (4) 「日米関税交渉の展望」（単著）『海外看世界』2025年10月3日
- (5) 「高市内閣が直面する3つの課題」（単著）『海外看世界』2025年11月14日

2. 研究発表等

- (1) 「最新流行語から中国の「今」を知る」NPO法人山梨県中国語・国際交流会第18回総会2025年6月8日山梨県立男女共同参画推進センター
- (2) 海洋観光に関する現地調査と国際学術交流2025年7月3日～7月10日中国海洋大学海洋文化研究所
- (3) 「書法交流史から見た日中関係の可能性と課題」「融合と相互理解：東アジア国際教育と人文交流国際学術会議」2025年7月12日青島濱海学院国際学術交流センター
- (4) 「高鳳翰作品在日本的傳播與影響述評」第十六届東亜漢学国際学術研討会2025年8月23日山梨県立大学
- (5) 「日本基於集約緊湊理念的城市發展方式転

變路徑探析」安徽行政学院日本訪問団講座
2025年9月30日パールホテル両国

3. 社会活動

- (1) NPO法人山梨県中国語・国際交流会副理事長（2025年度）
- (2) NPO法人宋慶齡基金会日中共同プロジェクト委員会副代表理事（2025年度）
- (3) 日中関係学会宮本賞推薦委員（2025年度）
- (4) 日本華人教授会議広報部員、会誌編集委員（2025年度）
- (5) 山梨学院大学国際共同研究センター客員研究員（2025年度）
- (6) 日本華人教授会議公開セミナー「トランプ政権2.0のアジア政策と米中関係」総合司会、ファシリテーター，2025年3月23日中日学術交流センター
- (7) 中国四川省成都市訪問団歓迎レセプション通訳2025年4月25日山梨県甲府市常盤ホテル
- (8) 中国四川省スポーツ交流団通訳2025年8月26日～29日山梨県甲府、河口湖、山中湖
- (9) 中国近代美術の旗一徐悲鴻絵画展2025年9月1日～5日東京中国文化センター運営委員、開幕式あいさつ
- (10) 国際シンポジウム「戦後80年に対する振り返りと未来社会の変化への展望」コメンテーター2025年9月27日，山梨学院大学
- (11) 中国四川省林業草原局訪日団通訳2025年11月11日～12日山梨県庁、古名屋ホテル
- (12) 第38回JCC中国講座「トランプ政権下の中国外交戦略」司会、コメンテーター2025年11月29日早稲田大学

名和敏光

【表彰等】

1. 京都大学人文科学研究所共同研究班課題公募班（一般A班）「中国生活文化の思想史」研究班班長、2023年4月～2026年3月。
2. 山東大学儒学高等学院国際漢学研究中心兼職教授、2017年5月～現在。
3. 立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所

研究員、2017年5月～現在。

【学術論文・翻訳】

1. 共著：島山奈緒子・名和敏光・村上幸造・大形徹『『千金翼方』禁經 譯註稿(二)』『立命館白川静記念東洋文字文化研究所紀要』第18号、2025年3月、77～106頁、査読無。
2. 単著：名和敏光「汲字考」『第36届中国文字学国際学術研討会論文集』中国文字学会、2025年5月、685～691頁、査読有。
3. 単著：名和敏光「日本墨子研究簡介」『全球墨家文化科技高峰論壇暨墨門書院十周年大会論文集』中国墨子学会、2025年5月17日、1～15頁、査読有。
4. 単著：名和敏光「釋“乃”字及“仍”“汲”字」『第二届“古文字与中華文明”國際学術論壇論文集』清華大学、2025年10月、1～7頁、査読有。
5. 単著：名和敏光「虎溪山漢簡《食方》札記(一)」『東北亞考古論壇暨定陶王墓地M2考古發現学術交流研討会論文集』山東省考古研究所、2025年10月、24～31頁、査読有。
6. 単著：名和敏光「虎溪山漢簡《食方》札記(二)」『第二届出土文献与經学古史國際学術研討会論文集』華東師範大学、2025年10月、57～62頁、査読有。
7. 単著：名和敏光「古佚書所見《尚書》佚文輯佚」『第七屆國際《尚書》学学術大会論文集』國際《尚書》学会、2025年12月、28～46頁、査読有。

【学会報告・その他】

1. 名和敏光「汲字考」第36届中国文字学国際学術研討会、中国文字学会、2025年5月2～3日、於台湾：国立台南大学。
2. 名和敏光「日本墨子研究簡介」全球墨家文化科技高峰論壇暨墨門書院十周年大会、主題報告、中国墨子学会、2025年5月17日、於深圳市。
3. 名和敏光「虎溪山漢簡の方術—占術と医術」京都大学人文科学研究所基盤研究班(C班)「東アジア伝統科学における自然と人間」、2025年6月9日、於京都大学人文科学研究所。
4. 名和敏光「釋“乃”字及“仍”“汲”字」第二

屆“古文字与中華文明”國際学術論壇、2024年10月18～19日、於北京：清華大学。

5. 名和敏光「虎溪山漢簡《食方》札記(一)」東北亞考古論壇暨定陶王墓地M2考古發現学術交流研討会、山東省考古研究所、2025年10月23～24日、於山東省菏泽市。
6. 名和敏光「虎溪山漢簡《食方》札記(二)」第二届出土文献与經学古史國際学術研討会、華東師範大学、学者代表專題報告、2025年10月25～26日、於上海市：華東師範大学。
7. 名和敏光「佚書所見《尚書》佚文輯佚」第七屆國際《尚書》学学術大会、基調報告、國際《尚書》学会、2025年12月29～30日、於海口市：海南師範大学龍昆南校区。

【國際学会参加】

1. 第36届中国文字学国際学術研討会、中国文字学会、2025年5月2～3日、於台湾：国立台南大学。(学術報告)
2. 全球墨家文化科技高峰論壇暨墨門書院十周年大会、中国墨子学会、2025年5月17日、於深圳市。(主題報告)
3. 京都大学人文科学研究所基盤研究班(C班)「東アジア伝統科学における自然と人間」、2025年6月9日、於京都大学人文科学研究所。(学術報告)
4. 第二届“古文字与中華文明”國際学術論壇、2024年10月18～19日、於北京：清華大学。(学術報告)
5. 東北亞考古論壇暨定陶王墓地M2考古發現学術交流研討会、山東省考古研究所、2025年10月23～24日、於山東省菏泽市。(学術報告)
6. 第二届出土文献与經学古史國際学術研討会、華東師範大学、2025年10月25～26日、於上海市：華東師範大学。(学者代表專題報告)
7. 日本道教学会、2025年11月8日、於北陸大学、日本道教学会。(司会)
8. 東アジア古印研究國際学術シンポジウム 東亞古璽印研究國際學術研討会、明治大学日本古代学研究所・復旦大学出土文献与古文字研究中心、2025年11月15～16日、於明治

大学駿河台キャンパス・グローバルフロント。
(主持人)

9. 第七屆國際《尚書》學學術大會、國際《尚書》
學會、2025年12月29～30日、於海口市：
海南師範大學龍昆南校區。(基調報告)

【獲得資金】

1. 班長、京都大學人文科學研究所共同研究班
課題公募班（一般A班）「中國生活文化の思想史」
研究班（總額：3,000千円）、2023年4
月～2026年3月。(繼續)
2. 研究分担者、日本學術振興會科學研究
費補助金（基盤研究(C)、研究課題番号：
25K04482、研究代表者：佐々木聡（金沢學
院大學准教授）、總額：4,680千円）、「前近
代東アジアにおける〈発病占〉の發展・変容・
伝播に関する社会史的研究」、2025年4月～
2028年3月。(新規)
[https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/
KAKENHI-PROJECT-25K04482/](https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-25K04482/)参照。

【学会役員・その他】

1. 中国出土資料学会理事、2016年4月～現在。
2. 日本道教学会理事、2020年1月～現在。
3. 日本漢字学会評議員、2020年11月～現在。
4. 東京大學東洋文化研究所研究班「中国古代
文献の成立に関する多角的研究」研究員、研
究代表者：小寺敦准教授、2009年4月～現在。
[https://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/project/
group/group.php?id=E1-4](https://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/project/group/group.php?id=E1-4)参照。
5. 京都大學人文科學研究所共同研究班課題公
募班（一般A班）「中國生活文化の思想史」研
究班班長、2023年4月～現在。

萩原孝恵

1. 研究論文

- (1) 岩佐詩子、奥村圭子、金庭久美子、坂井菜
緒、西部由佳、萩原孝恵（2025）「韓国語を
母語とする日本語学習者のメタ言語表現の使
用とレベル別特徴—「論点化」と「言い淀み」
に着目して—」『小出記念日本語教育学会論
文集』33：53-68、共著

2. 研究発表

- (1) 萩原孝恵、池谷清美「あのう、なぜここ
で笑うの？—フィルターで読み解くタイ人日
本語学習者の笑いの意味—」、タイ国日本
語教育研究会第37回年次セミナー分科会、
2025.03.15、共同

3. 地域貢献活動

- (1) 代表『『やさしい日本語』プロジェクト—
街中にある“わかりにくい日本語”を見つけ
てみよう—』山梨県立大学地域研究交流セン
ター地域実践事業、2025
- (2) 『山梨日日新聞』「外国籍の子 高校進
学を一正規就労へ『人生の分岐点』—」
2025.12.16掲載

4. 社会活動

大学日本語教員養成課程研究協議会理事、山
梨県地域日本語教育推進会議委員、甲府市総
合計画審議会委員、甲府市多文化共生推進委
員会委員、山梨県入札監視委員会委員、外部
査読等